ＩＳＳＮ 0285－4767

北海道考古学会だより

第　94　号
２００９．７．17

目　次

就任にあたってのご挨拶……1
2009年度　北海道考古学会第46回総会略報……2
遺跡見学会のご案内……7
研究会のお知らせ……7
事務連絡……8
入会者のお知らせ……8
会費納入についてのお願い……8
会誌編集委員会からのお知らせ……8

就任にあたってのご挨拶

新会長　小杉　康（北海道大学大学院）

このたび川名広文前会長の後をうけて、新会長に就任いたしました。昨年度は本会の創立45周年記念の行事が無事執り行われました。いよいよ50周年記念に向けて、心構えと準備が必要になってまいりました。そこで、この機会に改めて会則を読みなおし、任期中になすべきことは何かと考えてみました。ささやかながら二つの抱負を述べさせていただきます。

会則の第３条（目的）には、「北海道に存在する遺跡・遺物の保護」が謳われております。あわせて、第４条（事業）の⑷には「埋蔵文化財の保護」が掲げられております。これに関する具体的な活動内容につきましては、会則等には記載されておりませんが、これまでの実績としましては、個別の事案として遺跡の保存・保護問題が発生した際に、会則第９条（委員会）の定めるところの特別委員会を設置して、適宜対応してまいりました（だより第78号）。昨年度、前会長・前運営委員会のもとでは、占冠原野１遺跡調査問題（だより第90号）や、標準化問題・資格制度問題などの埋蔵文化財保護をとりまく情勢にかんがみて、「遺跡保護特別委員会」（臼杵勲委員長）が設置されております。また、本年５月に開催されました第46回定期総会の際には、第２号議案として2009年度事業計画案の⑤同特別委員会の設置（継続）が提案され、承認されております。このように遺跡保護特別委員会が常置化される背景には、遺跡の保護をとりまくさまざまな問題が日常的な課題として大きな比重を占めてきたからだと思います。また一方では、選出されました運営委員・地域委員の業務内容（規則・別表２）として「遺跡・遺物の保護」が会則等に明確に記されていないことが、これらの活動をいきおい特別委員会へと委ねる結果になったものと推察されます。先の総会で本年度の設置（継続）が承認されました遺跡保護特別委員会につきましては、緊急性を要する遺跡保護の問題に対応して活動していただくことを本義として、埋蔵文化財保護をとりまく日常的な問題につきましては運営委員（会長・副会長・総務）を窓口として、地域委員と緊密な連絡を取りながら活動していきたいと考えております。また、このような体制につきまして会則の改正が必要な場合は、この１年間を準備期間として、来年度の定期総会に諮りたいと考えております。その間に、会員の皆様からは活発なご意見を賜りたく、この場をお借りしてお願い申しあげます。

ささやかな抱負の二つ目は、月例研究会をその名の通り月例に近づけるとともに、若い会員の皆さんが気軽に参加して、活発に討議できる環境を整えることです。近年は年３回の開催が定着してきました。その理由の一つに、開催案内を会員の皆様に平等に公示・ご案内するためには、年３回発行の「だより」に歩調を合わせるべきである、という考えがありました。また、慢性的な発表者不足も隠しきれない実情でございます。さらにその背景には、北海道という地域的な広大さがあるのだと思いますが、今日の情報環境を考慮しますと、本会のホームページを活用して、「だより」と合わせてそこでご案内することが現実的であると考えております。日々の生活の中で遺跡保護の問題を取り立てて声高に語ることがなくとも、考古学に関する日常的な関心のちょっとした高まりが、それを実現するための近道であると期

待しております。また、特に若い会員の皆さんには積極的に参加していただくことが、月例研究会に限らずに、本会全体の、ひいては北海道考古学全般の活性化につながるものだと信じております。

総会・研究大会をはじめ遺跡見学会・遺跡調査報告会の開催や、会誌・だよりの発行、ＨＰでの情報発信などにつきましては、これまでどおり滞りなく、意欲盛んな運営委員・地域委員の方々とさらなる充実を目指してゆきたいと思います。

会員皆様のいっそうのご支援、ご協力をお願いいたします。

2009年度　北海道考古学会第46回総会略報

５月９日(土)13時より北海道大学学術交流会館にて本年度の定期総会が開催されました。会員数362名に対して本人出席61名、委任状出席114名、合計175名と、総会成立の要件である会員数の３分の１以上の出席を得たため、総会は成立いたしました。議長には第５地区（苫小牧市）の赤石慎三会員を選出し、下記の議案について審議されました。

この結果、下記の原案どおり承認されましたので報告いたします。

第１号議案　2008年度会務報告

(1) 事業報告

ア　第44回総会・研究大会

期日：2008年４月26日　　場所：札幌大学　プレアホール他

総会：2007年度会務報告、2008年度会務計画案　（いずれも承認）

研究大会：テーマ「続縄文文化とは何か」

イ　運営委員会

（回数）（開催日）（主たる議題）

第１回　５月31日　遺跡見学会・学会設立45周年記念事業など

第２回　９月６日　45周年記念事業・研究大会・報告会など

第３回　10月19日　45周年記念事業・遺跡報告会など

第４回　11月８日　遺跡報告会・研究大会・定例研究会など

第５回　１月17日　総会・研究大会・委員改選など

第６回　２月15日　総会・研究大会・「だより」・委員改選など

第７回　４月11日　総会・研究大会・定例研究会・会誌・委員改選など

ウ　定例研究会

第１回　期　日：７月12日（北海道大学総合博物館中会議室）

発表者：中澤寛将氏（中央大学大学院）

テーマ：「日本列島北部における須恵器生産・流通・消費をめぐる諸問題」

発表者：布施和洋氏（北海道大学大学院）

テーマ：「北海道島における陶磁器の流通と消費

―12世紀～16世紀の北海道島の諸相―」

第２回　期　日：11月22日（北海道大学総合博物館共同研究室）

発表者：荒山千恵氏（北海道大学大学院文学研究科専門研究員）

テーマ：「日本列島における音響発生器具の受容と展開」

発表者：小林紘一氏（株式会社パレオ・ラボ）

テーマ：「ＡＭＳによる炭素14年代測定」

第３回　期　日：２月８日（北海道大学総合博物館共同研究室）

発表者：守屋豊人氏（北海道大学埋蔵文化財調査室）

テーマ：「続縄文時代竪穴住居の上屋構造」

エ　遺跡見学会

期　日：８月３日　　参加者：69名

場　所：千歳市・苫小牧市・厚真町

オ　遺跡調査報告会

期　日：12月20日　　場　所：北海道大学　学術交流会館　講堂

内　容：各地域の概況および発掘調査の紹介・質疑

カ　連絡紙『北海道考古学会だより』の発行

年３回　91号（７月１日発行）、92号（11月13日発行）、93号（３月６日発行）

キ　会誌『北海道考古学』第45輯の発行

2009年３月発行　500部

ク　北海道考古学会設立45周年記念事業　講演・座談会「北海考古学会創設期のころ」

期　日：10月19日　　場　所：北海道開拓記念館　講堂

講　演：竹田輝雄氏　　座談会：竹田氏・野村崇氏・出村文理氏・菊池俊彦氏

司　会：平川善祥氏

(2) 収支決算報告

収　入

項　目	費　目	予算額(A)	決算額(B)	増 ▲減	備　考
会　費	会　費	1,300,000	1,767,000	467,000	5,000円×348件、4,500円×６件
事業収入	研究大会収入	220,000	215,000	▲ 5,000	研究大会資料集販売 115部×1,000円 札幌大学学会開催運営費補助 100,000円
	遺跡見学会収入	500,000	274,000	▲ 226,000	大人4,000円×68名 子供2,000円×１名
	遺跡調査報告会収入	120,000	108,000	▲ 12,000	報告資料集販売 108部×1,000円
	会誌等販売収入	100,000	165,450	65,450	会誌・資料集販売
	小　計	940,000	762,450	▲ 177,550	
広告料収入		0	0	0	
雑　入		1,066	0	▲ 1,066	
繰越金		883,934	883,934	0	
基金繰入金	特別収入	0	0	0	
特会収入	特別会計収入	0	0	0	
合　計		3,125,000	3,413,384	288,384	

支　出

項　目	費　目	予算額(A)	決算額(B)	残(▲超過)額	備　考
事業支出	研究大会費	500,000	343,542	156,458	資料集印刷費、講師謝礼交通費等
	遺跡見学会費	300,000	182,783	117,217	貸し切りバス等・振込み手数料
	研究会費	20,000	0	20,000	
	遺跡調査報告会費	300,000	268,200	31,800	資料集印刷費、 発表者謝礼交通費等
事務支出	会誌印刷費	1,200,000	872,340	327,660	第45号　500部／振込み手数料
	だより印刷費	160,000	156,480	3,520	91号・92号・93号／振込み手数料
	ホームページ費	90,000	55,864	34,136	プロバイダー契約料、 更新・維持管理費
	小　計	2,570,000	1,879,209	690,791	
	総会費	5,000	0	5,000	
	委員会費	5,000	0	5,000	
	消耗品費	50,000	24,527	25,473	文房具代等
	通信費	200,000	178,833	21,167	会誌・だより発送費、 葉書切手封筒代等
	賃　金	50,000	0	50,000	
	小　計	310,000	203,360	106,640	
特別支出		0	84,780	▲ 84,780	学会設立45周年講演･座談会開催費等 退会時前納分会費返金 （2007・08年度分）
予備費		245,000	0	245,000	
合　計		3,125,000	2,167,349	957,651	

2008年度決算

項　　目	費　　目	予算額(A)	決算額(B)	差引額(B－A)	備　　考
	収 入 総 計	3,125,000	3,413,384	288,384	
	支 出 総 計	3,125,000	2,167,349	▲ 957,651	
決算額差引	収 入 総 計（B）－ 支 出 総 計（B）			1,246,035	

2008年度北海道考古学会基金会計

項　　目	費　　目	予算額	基金積立額	基金総額	備　　考
基　　金	名取氏寄付金		420,000	420,000	
	石川氏寄付金		320,000	740,000	
	佐藤氏斉藤氏寄付金		100,000	840,000	
	北構保男氏寄付金		20,000	860,000	平成17年５月29日10,000円送金 平成18年３月22日10,000円入金
	宮下正司氏寄付金		10,000	870,000	平成20年度３月31日10,000円入金
	臨 時 積 立 金		200,000	1,070,000	
合　　計				1,070,000	
過年度支出	南茅部町埋蔵文化財調査団事務所被災支援金	77,000		993,000	2003年度支出
	鷲の木５遺跡保存対策費	160,000		833,000	2003年度支出
	鷲の木５遺跡保存対策費	60,000		773,000	
	40周年記念研究大会費	240,000		533,000	
合　　計		537,000			
基　　金　　残　　高				533,000	

(3) 監査報告

北海道考古学会の2008年度会計の監査を実施した結果、適正に処理されていることを確認したので報告いたします。

2009年４月24日

監査委員　菊 池 俊 彦　㊞

髙 橋 和 樹　㊞

第２号議案　2009年度会務計画

(1) 事業計画案

ア　基本方針

①　北海道考古学の発展のため、会誌の充実、研究大会・定例研究会・遺跡見学会・遺跡報告会などの積極的な開催を図る。

②　遺跡や考古学を取り巻く環境が日々変化していく中で、諸課題に取り組むための「特別委員会」を設置するなど、環境変化に機動的に対処しうる体制をとる。

③　「だより」・ホームページなどを通じて会の活動や研究成果を情報提供する。

④　会費納入の呼びかけと適正な予算執行により、財務基盤の安定化を図る

イ　2009年度事業計画

①　研究大会

期　日：2009年５月９日(土)10：00-17：30

場　所：北海道大学　学術交流会館　小講堂

テーマ：「擦文文化における地域間交渉・交易」

報　告：瀬川拓郎氏・塚本浩司氏・齋藤淳氏・鈴木琢也氏・乾芳宏氏・乾哲也氏

討　論：司会　澤井玄氏

②　遺跡見学会

日　時：８月実施予定

③　遺跡報告会

期　日：2009年12月19日(土)予定　　場　所：北海道大学　学術交流会館

④　定例研究会

年３回程度開催予定

⑤ **特別委員会の設置**

「遺跡保護特別委員会」、「国際交流特別委員会」

⑥ **会誌「北海道考古学」第46輯の発行**

発　行：年１回　　時　期：2010年３月　500部発行

⑦ **連絡誌「北海道考古学会だより」の発行**

発　行：年３回（第94号、第95号、第96号）　　時　期：７月、11月、３月（予定）

⑧ **ホームページの管理運営**

（2）2009年度予算案

収　入

項　目	費　目	2009年度予算額(A)	2008年度決算額(B)	増 ▲減	備　考
会　費	会　費	1,300,000	1,767,000	▲ 467,000	5,000円×260件
事業収入	研究大会収入	120,000	215,000	▲ 95,000	資料代1,000円×120部
	遺跡見学会収入	480,000	274,000	206,000	4,000円×120名（貸切バス３台）
	遺跡調査報告会収入	120,000	108,000	12,000	報告資料集売り上げ 1,000円×120部
	会誌等販売収入	100,000	165,450	▲ 65,450	
	小　計	820,000	762,450	57,550	
広告料収入		0	0	0	
雑　入		965	0	965	
繰越金		1,246,035	883,934	362,101	
基金繰入金		0	0	0	
特会収入		0	0	0	
合　計		3,367,000	3,413,384	▲ 46,384	

支　出

項　目	費　目	2009年度予算額(A)	2008年度決算額(B)	増 ▲減	備　考
事業支出	研究大会費	500,000	343,542	156,458	要旨印刷・講師費用弁償、 会場使用料等
	遺跡見学会費	300,000	182,783	117,217	貸し切りバス等／振込手数料
	研究会費	20,000	0	20,000	案内発送、研究会共催費
	遺跡調査報告会費	300,000	268,200	31,800	資料集印刷・発表者費用弁償、 会場使用料等
	会誌印刷費	1,200,000	872,340	327,660	第46号　500部／振込手数料
	だより印刷費	160,000	156,480	3,520	94号・95号・96号／振込手数料
	ホームページ費	90,000	55,864	34,136	プロバイダー契約料、 更新・維持管理費
	小　計	2,570,000	1,879,209	690,791	
事務支出	総会費	5,000	0	5,000	
	委員会費	30,000	0	30,000	特別委員会費含む
	消耗品費	50,000	24,527	25,473	文房具代・封筒代・コピー代等
	通信費	200,000	178,833	21,167	会誌・だより発送費、 葉書切手代金等含む
	賃　金	50,000	0	50,000	会誌・だより等の発送、 その他事務処理
	小　計	335,000	203,360	131,640	
特別支出		0	84,780	▲ 84,780	
予備費		462,000	0	462,000	
合　計		3,367,000	2,167,349	1,199,651	

2009年度北海道考古学会基金会計

項　　目	費　　目	予算額	基金積立額	基金総額	備　　考
基　　金	名取氏寄付金		420,000	420,000	
	石川氏寄付金		320,000	740,000	
	佐藤氏斉藤氏寄付金		100,000	840,000	
	北構保男氏寄付金		20,000	860,000	平成17年５月29日10,000円送金 平成18年３月22日10,000円入金
	宮下正司氏寄付金		10,000	870,000	平成20年３月31日10,000円入金
	臨時積立金		200,000	1,070,000	
合　　計				1,070,000	
過年度支出	南茅部町埋蔵文化財調査団事務所被災支援金	77,000		993,000	2003年度支出
	鷲の木５遺跡保存対策費	160,000		833,000	2003年度支出
	鷲の木５遺跡保存対策費	60,000		773,000	
	40周年記念研究大会費	240,000		533,000	
合　　計		537,000			
基　　金　　残　　高				533,000	

第３号議案　運営委員・監査委員の改選について

北海道考古学会会則第６条および規則２―１第２条・第３条に基づき、運営委員および監査委員について会員による推薦と投票の結果、以下のように改選を行います。

○会　長　　小杉　康（新任、北海道大学大学院）

○副会長　　越田　賢一郎（再任／前任副会長、（財）北海道埋蔵文化財センター）

○地域委員
第３地域　　嶋井　康夫（再任、仁木町教育委員会）
第４地域　　石井　淳平（再任、厚沢部町教育委員会）
第５地域　　奈良　智法（新任、厚真町教育委員会）
第６地域　　山谷　文人（新任、利尻富士町教育委員会）
第７地域　　角　達之助（新任、北海道立北方民族博物館）
第８地域　　大橋　　毅（再任、芽室町教育委員会）
第９地域　　深澤百合子（再任、東北大学大学院国際文化研究科）
第10地域　　佐藤　孝雄（新任、慶應義塾大学文学部）

○会誌編集委員（五十音順）
石川　直章（小樽市総合博物館）
上野　秀一（札幌市教育委員会）
熊木　俊朗（東京大学大学院北海文化研究常呂実習施設）
仙庭　伸久（札幌市埋蔵文化財センター）
守屋　豊人（北海道大学埋蔵文化財調査室）

○運営委員
総務担当　高倉　　純（新任、北海道大学埋蔵文化財調査室）
　　荒山　千恵（新任、北海道大学文学部）
会計担当　木山　克彦（再任／前任研究会、北海道大学埋蔵文化財調査室）
会誌担当　手塚　　薫（新任、北海学園大学人文学部）
　　松田　宏介（新任、室蘭市教育委員会）
研究会担当　佐藤　一志（新任、江別市教育委員会）
　　高橋　　理（新任、千歳市教育委員会埋蔵文化財センター）

見学会担当　芝田　直人（新任、（財）北海道埋蔵文化財センター）
　　小針　大志（新任、札幌市埋蔵文化財センター）
報告会担当　広田　良成（新任、（財）北海道埋蔵文化財センター）
　　宗像　公司（新任、北海道教育庁）
だより担当　坂梨　夏代（再任／前任総務、札幌国際大学）

○監査委員
菊池　俊彦（再任、北海道大学）、羽賀　憲二（新任、札幌市埋蔵文化財センター）

遺　跡　見　学　会

毎年恒例の遺跡見学会、今年度は「アイヌ民族の歴史と文化にふれる」をテーマとして、旭川市内の遺跡・博物館を巡る計画で準備中です。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

期　　日　８月23日（日）　雨天決行
集合場所　札幌駅北口（観光バス乗り場）　集合時間８：00　＊バスは北遊観光バスです。
見学コース　ＪＲ札幌駅北口（８：00）⇒道央自動車道経由で旭川市へ
⇒神居古潭竪穴住居遺跡・神居古潭チャシ・神居古潭変成帯の岩壁（眺望）
⇒車中にて昼食⇒アイヌ文化の森伝承のコタン・嵐山公園
⇒立岩山チャシ跡遺跡発掘現場（調査機関：東海大学）⇒旭川市博物館
⇒道央自動車道経由で札幌市へ⇒ＪＲ札幌駅（17～18時頃到着予定）
＊なお、天候・道路・現場の状況により行程を多少変更する場合がございます。ご了承下さい。
参加費用　大人4,000円、中学生以下2,000円（バス代、保険料、入館料込み）
＊当日申し受けます。
募集人数　先着順120名（予定）
申込方法　往復葉書かメールで。**電話受付は致しません。**
①往復葉書の場合
＜往信部表面＞　〒060-0810　札幌市北区北10条西７丁目北海道大学大学院
文学研究科北方文化論講座小杉研究室気付
北海道考古学会事務局
＜往信部裏面＞　郵便番号、住所、氏名（同行者名も）、自宅電話番号、携帯電話番号を記入。
＜返信部表面＞　返信用の郵便番号・住所・氏名
＜返信部裏面＞　何も記入しないでください。
②メールの場合
hokkaidokoukogakkai@m9.dion.ne.jpに郵便番号、住所、氏名（同行者名も）、自宅電話番号、携帯電話番号を記入し、送信してください。
申込期限　８月12日（水）　当日の消印有効。
キャンセル　葉書かメールで。８月19日（水）以降のキャンセルは、下記問い合わせ先にお電話ください。
問い合せ先　平日の18：00～20：00のみ。
見学会担当　芝田（090-9087-6802）、小針（090-7076-8964）まで。
服装・お持ちいただくもの
昼食・雨具は持参してください。また、歩きやすい服装・靴でお越しください。その他、帽子、常備薬、虫よけ、筆記用具などお持ちいただくことをお勧めいたします。

定例研究会のお知らせ

第１回定例研究会
○日　時：７月26日（日）　15：30～17：30
○場　所：北海道大学人文・社会総合教育研究棟W309室

○発表者：遠部　慎（北海道大学埋蔵文化財調査室）
○テーマ：北海道における炭素14年代測定試料の諸問題―遺跡出土試料を中心に―
○内　容：北海道では発掘調査に伴い、これまでに数多くの遺跡で年代測定例が蓄積されている。しかしながら、データ解釈や、測定資料のコンテクストや、各遺跡の傾向などのバイアスを考慮するケースは少なく、その利用にあたってはあくまで補助的という感を拭えない。本発表では、いくつの遺跡試料を分析し、視点を変えてみるとどのようなことが見えてくる可能性があるのか、筆者なりの見解を示してみたい。

※今後の研究会の開催は、詳細が決まり次第、ＨＰ、だより等でお知らせします。なお、次回は９月中の開催を予定しています。
※会員の皆様で、月例会での研究発表を希望する方は研究会担当運営委員（高橋・佐藤）まで、ご一報ください。

入会者のお知らせ

≪新入会員≫　※五十音順・敬称略
奥内尚史（札幌市）　塚本浩司（大阪府）　遠部慎（札幌市）　三浦龍一（札幌市）
※退会者については、個人情報保護のため掲載を控えています。

会費納入についてのお願い

会の運営には、会員の皆様のご協力が不可欠です。会費の年内納入にご協力いただきますようお願い申し上げます。また、本年度を除く過去３年以上の会費が納入されていない会員には、北海道考古学会誌を送付しておりません。会費納入を確認した後、送付いたします。

郵便局口座番号：02770-6-8358　加入者名：北海道考古学会
年会費：（一般）5,000円　（学生）3,500円

会誌編集委員会からのお知らせ

2010年３月刊行予定の第46輯への会員の皆様の積極的なご投稿をお待ちしております。論文・研究ノート以外にも、資料紹介・書評などの投稿も歓迎いたします。編集の都合上、投稿を予定されている方は、あらかじめ編集委員会にお知らせいただければ幸いです。なお、投稿規定に関しての詳細は、2007年度版北海道考古学会会員名簿53頁～55頁をご覧下さい。

なお、原稿の送付先は次号「だより」およびＨＰでお知らせいたします。

締 め 切 り：2010年１月中旬（予定）

北海道考古学会だより　第94号　2009年７月17日　発行
発行所　北海道考古学会（HP：http : //www.h7.dion.ne.jp/~hokkouko/）
事務局；〒060-0810　札幌市北区北10条西７丁目
北海道大学大学院文学研究科北方文化論講座　小杉研究室気付
TEL/FAX（011）706-4000
E-mail；hokkaidokoukogakkai@m9.dion.ne.jp
印　刷　北海道図書企画　（011）668－1131